



H28津山管内布瀬トンネル円形水路補修工事

現在、自家用車には2年に一度の自動車検査登録制度(車検)がありますように、車が走るインフラストラクチャにつきましても、中央自動車道笹子トンネル事故を契機に、2014年から全国のトンネル(約1万本)や2m以上の道路橋(約70万橋)など、社会資本の維持・管理・更新として5年に一度の定期点検が義務付けられています。

今後、アジアで初の開催となります【ラグビーワールドカップ2019 日本大会】そして翌年開催の【東京2020 オリンピック・パラリンピック】に向け、海外からの来訪者が一段と増加することが予想されます。移動手段としての高速道路における安全走行確保のために、トンネル本体はもとより排水路のメンテナンスも重要課題です。今回、中国自動車道・布瀬トンネル内の円形水路補修工事に「ハイパーRCD工法(円形水路修繕工法)」を採用いただきました。

■土木



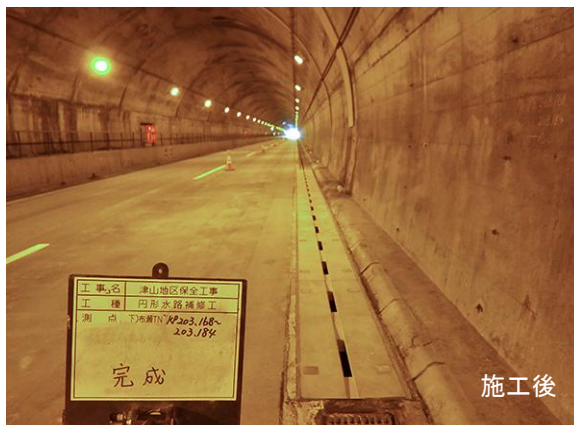
webカタログもご覧下さい



ハイパーRCD工法(円形水路修繕工法)＝特許出願中＝

NIKKO WORKS

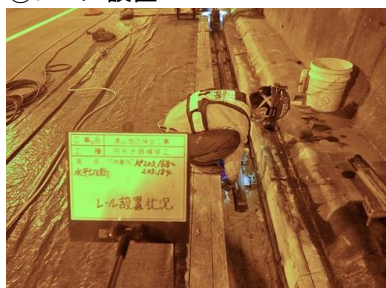
高速道路維持補修



①垂直切断



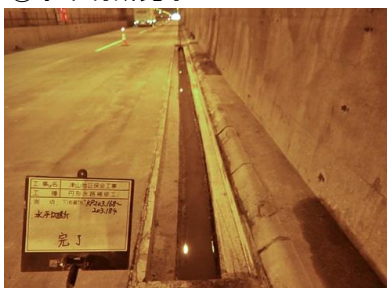
②レール設置



③水平切断



④水平切断完了



⑤蓋版設置

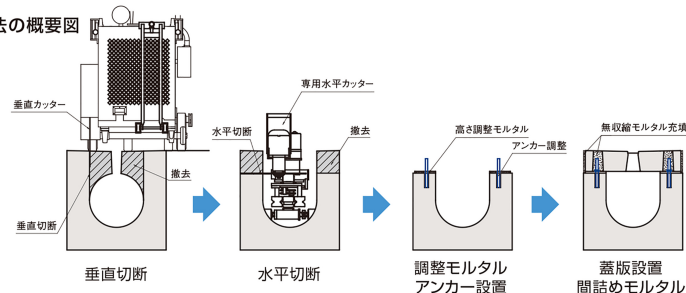


⑥間詰めモルタル



H28津山管内布瀬トンネル円形水路補修工事

■工法の概要図



■特長

- **工期短縮** 即日開放が可能な工法で、工事期間の短縮が図れ、交通渋滞を軽減します。
- **施工性** 専用水平カッターの切断面は平滑で、切断面にPca蓋を設置できます。
- **耐久性** 専用カッターは既設水路を傷めることなく、周辺の構造物にも影響を与えません。
- **安全性** 専用蓋は、水路本体とアンカー固定するためズレやガタツキが生じません。
- **E C O** 既設の円形水路を取換えしないため、廃棄物の発生が非常に少なく、環境に配慮しています。



施工手順ムービーはコチラから

■土木



webカタログもご覧下さい

現場住所 中国自動車道(岡山県真庭市布瀬トンネル)

施主名 西日本高速道路

竣工年月 2016年12月

トンネル内:ハイパーRCD工法: $\phi 300 \times 600\text{m}$
(円形水路修繕工法)